

海外臨床薬学研修 報告書

研修期間：令和6年2月11日～令和6年2月24日

所属：名城大学薬学部薬学科

学年：4年

学籍番号：200973133

氏名：澤村明純

1. 参加目的

アメリカの薬学部で行われている教育がどのようなものか実際に体験する。

アメリカの薬学教育や薬剤師の職能、薬局や病院における薬物治療を現地で学ぶことで視野を広げる。これから実務実習や国家試験に向けた勉強、研究活動や就職活動を控えた自分にとって刺激になる体験をする。

2. 研修内容

【研修テーマ】アメリカにおける薬学教育や薬剤師の職能について学ぶ

【研修日程】

| 月日 | 研修内容 |
|-------|---|
| 2月12日 | 【講義】Michael Katz先生の自己紹介、アメリカの薬学教育 |
| 2月13日 | 【講義】高齢者のRSウイルス感染 |
| 2月14日 | 【講義】HIV感染症と薬剤師、医薬品情報、心房細動、先生と学生のSNSにおける関係 |
| 2月15日 | 【講義】EBMと診療ガイドライン1 |
| 2月18日 | アリゾナ大学薬学部の皆さんとハイキング、Michael Katz先生とバスケットボールの試合観戦、アリゾナ大学薬学部の皆さんと夕食 |
| 2月19日 | 【見学】Banner-University Medical Center 見学 【講義】頭痛、甲状腺クリーゼ、薬学部における体験教育、感染症PGY2レジデント |
| 2月20日 | 【講義】感染症専門の先生のキャリア、調剤（リップクリーム作り）、外来診療や病院における薬剤師の役割、地域の薬局 |
| 2月21日 | 【見学】CVS Pharmacy 見学 【講義】EBMと診療ガイドライン2、アメリカの病院の経済、服薬アドヒアランス |
| 2月22日 | 【見学】Pharmacy ミュージアム見学 【講義】高齢者に対する薬物治療、薬剤師の責任と役割、クリニックにおけるがん治療と薬剤師、てんかん、フォーミュラリー、薬剤師による薬物治療管理サービス |

【研修内容の詳細】

アメリカの薬学教育や薬剤師の役割、アリゾナ大学薬学部のカリキュラム、薬剤師をしている先生方のキャリア、HIV 感染症や高齢者の RS ウイルス感染などについての講義を受講した。アメリカの薬学部では最初の 2 年を Pre-Pharmacy といい、英語や歴史、経済、数学などを学び、その後 4 年間の PharmD program を修了することで薬剤師になれることや、4 年生では必修 4 つ、選択 3 つの合計 7 つの実習を行うこと（日本の薬学部では 5 年生で実習を行う）など、日本の薬学部と異なる点を学んだ。また、レジデントの方のプレゼンテーションの講義や、アリゾナ大学薬学部の学生に向けた頭痛や EBM などについての講義を聴講した。頭痛の講義は、講義中に問題が出され、学生が手元のパソコンですぐに解答し、選択肢の解答率と正答と成績順位がスクリーンに映し出される参加型の講義だった。ツーソンとおおよそ 200km 離れたフェニックスキャンパスにも連れて行っていただき、そこでも講義を受講した。

また、病院や薬局を見学し、テクニシャンの方が調剤をされていること、薬局にワクチンの接種スペースがあること、日本では OTC 薬ではないプロトンポンプ阻害薬 (PPI) やメラトニンなどが薬局で販売されていること、オピオイド受容体拮抗薬のナロキソンが薬局で購入できることなどの日本と異なる点を見ることができた。

ハイキングや夕食でアリゾナ大学薬学部の学生と話す機会をいただき、将来どこで働きたいか、何の実習をしているか、好きな科目は何かなどたくさん話すことができた。

3. 感想

薬剤師になるための過程や専門性の極め方、薬剤師の業務、薬局・病院での薬物治療などにおいて日本とアメリカで異なっている点や共通している点を知ることができた。来年度実務実習へ行った際に、今より明確に日本の薬剤師とアメリカの薬剤師の相違点を理解することができると思う。

薬学部の講義に参加し、学生の皆さんが先生に積極的に質問していたり、手元のマイクで先生の問いかけに答えていたり、学生の学びへの積極性を感じた。また、全ての講義において、少しでも気になったことを何でも質問して理解を深められる講義を行なっていただいたので、詳しい説明のなかった部分で気になったことや講義中の説明では理解できなかったことを質問することでより深く理解することができた。これまでは、講義資料で示されている内容や説明があった内容を理解することで満足していたが、これからはいろんなことに興味を持って知識を探究したり、理解を深めたりできるような学習を行っていきたい。

また、PGY2 というレジデント 2 年目の先生の講義を聞き、本当に自分が興味のある分野の専門性を磨いてやりがいや楽しさを感じながら患者さんの薬物治療に大きく貢献されていることを知り、将来認定薬剤師になることへの憧れが強くなった。今は専門性を磨きたいと思う分野は絞れていないが、自分の興味のある分野を見つけて勉強を続けていくことに対するモチベーションが上がる良い機会となった。

また、薬剤師に必要な資質としてリーダーシップの重要性が強調されていると感じた。私は今までリーダーシップを身につけようと意識したことはなかったので、今後はリーダーシップが薬剤師に重要であることを意識して行動していきたい。

今回の臨床研修では、薬剤師という職種に対する理解が深まり、また、アメリカの薬剤師について学んだことで視野がとても広がったと感じる。今回学んだことを意識して薬局と病院の実務実習に取り組み、日本の薬剤師や薬局、病院の実際を理解することで、目指したい薬剤師像をより明確にし、そうなるための努力をしていきたい。